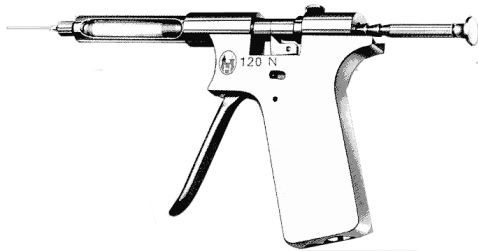


器具器械 48 注射筒（滅菌されたものを除く。）
*一般医療機器 歯根膜内麻酔用注射筒 「JMDN」 35869000
ヘンケジェクト120ニュートン 成人用

【形状・構造及び原理等】

[全体図]



[寸法]



[原材料]

ステンレス・スチール製

[原理]

メタル製バレルに歯科用カートリッジ麻酔薬を装填し、針もと接続部に市販の注射針を接続します。この操作により、注射針の針もと側に伸びている針管がカートリッジ麻酔薬のゴム栓アルミキャップに刺通し、カートリッジ麻酔薬内に通じます。メタル製バレルを本体に接続し、トリガーを引くことにより、ピストンロッドが前方に押され、カートリッジ麻酔薬の後側のゴム栓を押すことで、麻酔薬を注出します。

*【使用目的又は効果】

徐々に圧力を加え歯周韌帯又は骨に局所麻酔薬を投与するために特別に設計された歯科用カートリッジ式注射筒をいう。

*【使用方法等】

- ①ラチェットロックを押し、ピストンロッドを後方に一杯引くとピストンロッドが後方に移動し、ピストンロッド先端はメタル製バレル固定部内に隠れます。
- ②付属の保護用スリーブをメタル製バレル内に入れ、その中に歯科用カートリッジ麻酔薬を挿入し、ねじ込み

よりメタル製バレル固定部に接続固定します。

- ③歯科カートリッジ用注射針をカートリッジ保持筒の針もと接続部にねじ込みにより固定すると、注射針の針もと側に伸びている針管がカートリッジ麻酔薬のゴム栓アルミキャップを刺通し、カートリッジ麻酔薬内に通じます。
- ④ハンドルを握り、トリガーを一杯引くと、トリガーに連結されているストップフックが前方に動き、このためピストンロッドが前方に押され、このピストンロッドによりカートリッジ麻酔薬の後側のゴム栓がカートリッジの筒内を前方に気密に移動し、その圧力で注射針先端から麻酔薬が注出されます。
- ⑤トリガーを外すと、ピストンロッドはそのままの位置で停止し、トリガー及びストップフックがスプリングにより元の位置に戻り、次の注射が行えます。
- ⑥120ニュートン以上の力でトリガーを引くと、圧力安全装置が働き、空打ち状態になります。圧力が120ニュートン以下になれば引き続き注射が行えます。



【使用上の注意】

[使用注意]

- ①本品は未滅菌品であるため、使用に際しては必ず洗浄し、【保守・点検に係る事項】に記載する滅菌条件又は医療機関により確認され、検証された滅菌条件において滅菌を行うこと。
- ②使用前、使用後はひび、割れ、凹凸、錆、変形等を確認し、異常が認められた場合は使用しないこと。
- ③歯根膜麻酔以外の注射器として使用しないこと。
- ④炎症性歯槽膿漏の患者には歯根膜麻酔を行わないこと。
- ⑤トリガーは常に“ゆっくり”と引き、1回の投与0.2mlに対し、20～30秒をかけて注射すること。
- ⑥30～33ゲージのディスプレイダブル注射針を使用すること。

*【保管方法】

歯科の従事者以外が触れないように適切に保管・管理すること。

【保守・点検に係る事項】

[滅菌条件]

本品使用後は、水洗の後、超音波洗浄器、清掃液、消毒剤などにより付着物を完全に除去した後、十分に乾燥させ、下記に記載する条件又は医療機関により確認され、検証された滅菌条件において滅菌を行うこと。なお、滅菌のためのセット・包装にあたっては、製品の劣化を防ぐため、メタル製バーレルと本体を取り外すこと。

滅菌方法：高圧蒸気滅菌

滅菌条件：温度 132℃、時間 10分

(過度の温度上昇を避けるため乾燥工程は省くこと。)

[使用者による保守・点検事項]

カートリッジが破損した場合は、直ぐに水洗いすること。
放置しておくことスプリング・スリーブの隙間に漏洩した麻酔薬が結晶化し、スプリング・スリーブの戻りが悪くなる原因となります。

***【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称】**

製造販売業者名：株式会社 茂久田商会

緊急連絡先：TEL 078-303-8248

FAX 078-303-2151

製造業者名：ヘンケ社／ドイツ

Henke-Sass, Wolf GmbH / Germany